



入園式

現場における仏教保育—子どもたちの幸せを願って—

鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園・園長 山崎 和子

一、はじめに

三松幼稚園の正式名称は、学校法人総持学園鶴見大学短期大学部附属三松幼稚園です。つまり三松幼稚園は短期大学部の附属という訳です。短期大学部には、保育科、歯科衛生科、専攻科があります。(表1) 保育科は皆様ご存知のように、幼稚園、保育園等の先生を養成する学校です。言うなれば、養成校附属の幼稚園、そうであるならば、横浜市内はじめ神奈川県内、いや全国の幼稚園をリードしていく役割もあるのではないかと考えています。

三松幼稚園では、質の高い保育を目指し、職員と話し合い、学び高め合いながら保育を展開しています。特に、保育科の先生方は、新しい情報を沢山お持ちです。で、専門性を高める為の園内研修をしていただき、連携を密にしているところです。結果、三松幼稚園には、市内外の幼稚園をはじめ、他の養成校、行政までも、見学に見えるようになりました。

また、総持学園の名の通り、母体は總持寺ですので、總持寺とのつながりが保育の中でも沢山あります。

年度始めは、花まつり(4月8日)と決まっており、入園式には、入園記念品として、お数珠をいただきます。そして、大祖堂には、学期に一度お参り(2学期は、写真の



大祖堂（おじいちゃん・おばあちゃんと本山参拝）

ようにおじいちゃんやおばあちゃんと一緒に）をしています。おかげさまで、三松の子ども達は手を合わせてお焼香するのがとても上手です。

さらに曹洞宗の象徴ともなっている坐禅は、年長になると月1回、年11回体験し、静の時間・集中する時を過ごしています。坐禅に加えて、み霊まつり、お餅つきには、お坊さんとのふれ合いもあり、多様な人とのかわりが大切な幼児期に他の幼稚園では絶対にあり得ない、三松幼稚園ならではの経験を数多くしております。

総持寺の境内は自然がいっぱいで子どもがそぶのに相応しい環境であるため、よく近所の保育園の小さなお友だちが毎日沢山みえています。三松幼稚園も、今年入園したばかりの3年保育の春の遠足は、総持寺とのつながりや素晴らしい環境を保護者様にも体験して頂けるように、総持寺に決定しました。幼稚園ホールに集合し、第二園庭を通って総持寺へ、まずは大祖堂でお参り、記念撮影、境内で親子であそび、楽しい一日を過ごして参りました。



坐 禅



み霊まつり



お餅つき

総持学園 建学の精神

だいかくえんじよほうおんぎやうじ
大覚円成 報恩行持

これは、三松幼稚園初代園長の中根環堂先生がお考えになったと聞いています。

現代記

- ・感謝を忘れず 眞人ひととなる
- ・感謝のこころ育んで いのち輝く人となる

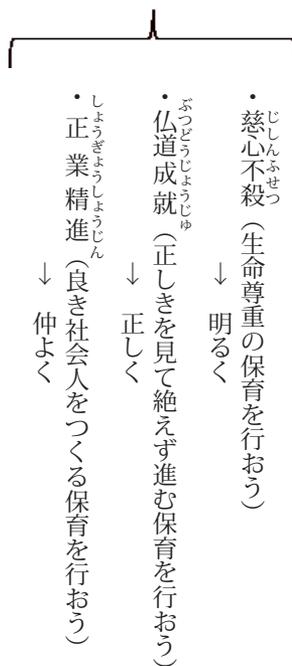
総持学園は、幼稚園から中学・高校・大学まで一貫して、『円満な人格の形成と人類社会に対する感謝・報恩の実践を心の指針としています』

幼稚園ではそれを、『心豊かな人』と解釈し保育しています。

二、仏教保育三綱領

幼児期は人生の土台作り、一生ものの始まりです。
そこで、『保育三綱領』を基に、日々の保育を行なっております。

保育三綱領



三、仏教保育1年のねらい

- 4月 ・合掌聞法（入園、進級を喜び、園生活にしたしもう。）
- 5月 ・持戒和合（決まりを守り、集団生活をたのしもう。）
- 6月 ・生命尊重（生き物を大切にしよう。）
- 7月 ・布施奉仕（だれにも親切にしよう。）
- 8月 ・自利自他（できることは進んでしよう。）
- 9月 ・報恩感謝（社会や自然の恵みに感謝しよう。）
- 10月 ・同事協力（お互いに助け合おう。）
- 11月 ・精進努力（最後までやりとげよう。）
- 12月 ・忍辱持久（教えを知り、みんなで努め励もう。）

※学年ごとにこれをさらに具体化したねらいを設定しています



お弁当



お地藏さま

- 1月 ・ 和顔愛語（寒さに負けず、仲良く遊ぼう。）
- 2月 ・ 禅定静寂（よく考え、落ち着いた暮らしをしよう。）
- 3月 ・ 智慧希望（希望を持ち、楽しく暮らそう。）

四、三松幼稚園が特に大切にしている目標

『心豊かな人』を育むために、三松幼稚園では日々の保育の中で、以下を共通の目標と
しています。

◇報恩感謝（感謝のできる子）

お釈迦さま、お地藏さまがいつも見守ってくれていることを機会あるごとに伝えていま
す。また、お弁当の時に、感謝をしています。

- ・ 命をいただいていること
- ・ 目の前にある食べ物がどれだけ多くの人の手により作られたのか、等を伝えていま
- ・ 食べることは生きること

◇生命尊重（命を大切にする子）



生き物（蚕のお世話）



お誕生会



絵本

生き物 ↓ 小さな生き物を育てながら、それぞれにも命があること
お誕生会 ↓ いのちは自分1人のものではない

多くの人やご先祖さまに支えられて今の自分があること
機会があるごとにどの命もかけがえない命であること
を伝えていきます

絵本 ↓ いのちのまつりを読む

◇お友だち！お先にどうぞ

〈創立90周年（平成26年）幼稚園教育目標〉

幼児期は自分のことしか考えられない自己中心性から周りにいる自分以外の他者とぶつかり合いながら相手の気持ちに気づき自制することができるといいう自律性（セルフコントロール）が芽生える時期です。

そういう時だからこそ、子どもの傍らにいる大人たちが率先して「お先にどうぞ」という言葉を日常生活の中で意識して使っていくことが大切と考えます。そうすることにより幼いながらも相手をおもいやるといいう優しい心がそだちます。



年長になると…一人ずつしか降りられない遊具であそんでいる時、誰かが「お先にどうぞ!!」と言ったのを担任が褒めると、次々に「どうぞ」「どうぞ」という声が、まるでコントのようになったとのことです。普段から大人が“お先にどうぞ”という言葉を使っていると、自然と子どもたちにも譲り合う姿が見られるようになるということです。

◇自分で考え行動する子

「子どもたちが大人になったとき、どのような社会になっているかは、極めて不透明であるならば、どんな社会、世の中でも生きていける子にしておく必要がある」と考えます。子どもたちは、あそびの中で人生に必要な知恵を身につけていきます。主体的にあそぶ中で対話し、深い学びをしています。

五、三仏忌

三仏忌を、絵話や紙芝居、ビデオ等の教材を用いて、分かりやすく丁寧に伝えています。

- ・お釈迦様のお誕生（花祭り） 4月8日
- ・お釈迦様のお悟り（成道会） 12月8日
- ・お釈迦様の最期（涅槃会） 2月15日



花祭り



成道会



涅槃会

年長になると、ちぎり絵で三仏忌を表現し、それを身近なところに、子ども目の高さに合わせて設置し、親しむ機会を設けています。また、年長になると、2月の発表会には、お悟りの劇を行なっています。

卒園式では、「皆さんはお釈迦様の子どもとして元気で仲良く過ごせました。お釈迦様は、いつも、いつまでも、皆さんを応援し見守ってくださいていることを忘れないで下さいね。」と伝えていきます。



花祭り



プール開き



卒園式

六、保育の中の礼拝

終業式	終業式	修了式
七夕まつり	成道会	卒園式
プールの開き	太祖様降誕会	ひな祭り
こどもの日	七五三	涅槃会
入園式	始業式	道元禅師様降誕会
始業式(花祭り)	始業式	始業式
1学期 6回	2学期 5回	3学期 6回

(年間 計 12 回)

七、まとめにかえて

仏教保育 II 日本人の心そのもの

仏教保育というと、何か特別なものと構えてしまいがちですが、日本人なら誰もがごく自然に持っている心ではないかと感じています。

仏教保育は、人として生きていくために必要なこと、大切なこと、を分かりやすく子どもにも伝わるよう組み立てられている「すぐれもの」と今さらながら思えてなりません。

例えば、

- ・ 食べる時 ↓ 日本人なら誰でも自然に手を合わせ「いただきます」という
- ・ 仏さま ↓ 御仏壇がある家では、珍しいものや頂戴した品は、まずお供えしてから

いただく、御仏壇のない家でも、お盆やお彼岸にはお墓参りをし、ご先祖様に感謝する

このように意識しなくとも、仏教保育は、日常の中に、習慣、文化として、根づいていると確信しています。

表1 総持学園の構成

